

産業・企業演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-402
選択必修 2単位

関根 勇

1. 授業の概要(ねらい)

本講では、4年生を対象に、主にICT(情報通信技術)産業とICT企業を対象にした実践的な講義を行います。コロナ禍によって、多くの産業が激しい状況にある一方で、経済活動面や生活面でのデジタル化を担うICT産業は非常に好調です。全ての企業にとって、AI(人工知能)やIoT、ビッグデータ、ロボットといったICTを活用してのビジネスモデルの変革、即ち「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」は、喫緊の課題となっています。秋学期では、GAFAMといった米国巨大ICT企業から、テスラやネットフリックス、ウーバー、エアビーアンドビーといったデジタル技術を駆使したネクストGAFAMの新興企業群も、「ビジネスモデル」の観点から分析します。最後に、本講が4年生を対象にしていることから、新社会人としてキャリアを積んでいくにあたって必要な知識や知見なども講義していきます。

2. 授業の到達目標

- ① GAFAM等の巨大ICT企業やネクストGAFAM企業群の創業以来のビジネスモデルを理解し、説明することができる。
- ② ウィズ・コロナ及びポスト・コロナの経営環境を理解し、説明することができる。
- ③ 新社会人として必要な知識や知見、洞察力(方向感覚)を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート:60%、中間レポート:20%、ビジネス関連QUIZ(合計10問):20%

4. 教科書・参考文献

教科書

関根勇 ビジネスモデルの経営学 共同文化社

参考文献

田中道昭 経営戦略4.0図鑑 SB Creative

山本康正 2025年を制覇する破壊的企業 SB新書

山口周 ニュータイプの時代 ダイヤモンド社

5. 準備学修の内容

LMSに講義内容のパワーポイント資料を事前に(3日前)アップロードするため、必ず読んで予習してください。上記教科書及び参考書は、更に理解や知識を深めたい方に紹介するものです。

6. その他履修上の注意事項

質問や意見がある場合は、氏名と学生番号記載の上、本講の履修生である旨を明記し右記までメールを下さい。mkiskn@k05.itscom.net
尚、全履修生に紹介できるような「良い質問」をしていただいた方には、プラス5点の加点評価をいたします。

7. 授業内容

- 【第1回】 春学期(産業・企業演習Ⅰ)の振り返りと秋学期のスケジュール
- 【第2回】 アップル社のビジネスモデルの変遷
- 【第3回】 アマゾン・ドットコム社のビジネスモデル
- 【第4回】 グーグル(アルファベット社)のビジネスモデル
- 【第5回】 フェイスブック社のビジネスモデル
- 【第6回】 マイクロソフト社のビジネスモデルの変遷
- 【第7回】 ICTをフル活用する新興企業①:テスラ社
- 【第8回】 ICTをフル活用する新興企業②:ネットフリックス社、ウーバー社、エアビーアンドビー社他
- 【第9回】 ウィズ・コロナ及びポスト・コロナ状況下での企業経営
- 【第10回】 日本及び日本企業の課題①
世界の中での日本の位置づけと日本企業の問題点
- 【第11回】 日本及び日本企業の課題②
ICT(デジタル技術)によるビジネスモデル改革
- 【第12回】 これからビジネス・パーソンとしてキャリアを積んでいく皆さんへ①
問題解決手法とロジカル・シンキング
- 【第13回】 これからビジネス・パーソンとしてキャリアを積んでいく皆さんへ②
主な経営分析フレームワーク
- 【第14回】 これからビジネス・パーソンとしてキャリアを積んでいく皆さんへ③
「失敗」の必要性、多様性の重要性、投資への考え方等
- 【第15回】 帝京大学4年生の皆さんへのメッセージ
ニュータイプの時代に必要なマインドセット